2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基礎柔道整復学・概論Ⅴ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　4　時間(単位)
対象学年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	303教室
担当教員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤　卓実	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

運動器系の疼痛・診察の鑑別診断・整復固定・後療法　スポーツ外傷　軟部組織損傷の診察の鑑別・検査法

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)
適宜資料の配布を行う

《授業外における学習方法》

次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する

《履修に当たっての留意点》

疑問点は質問し、日々の反復復習をしっかり行ってください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者へ診察および説明ができるようになる 鑑別診断ができるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の診断および鑑別診断 (観察・問診・触診・鑑別診断・合併症の有無の判定)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者へ整復固定ができるようになる 患者説明の内容が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の整復固定 (説明と同意・徒手整復・固定・整復固定後の確認)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法① (物理療法)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法② (手技療法)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の後療法③ (運動療法)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の疼痛を訴える患者の指導管理が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動器系の疼痛を訴える患者の指導管理		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨強度の回復・関節可動域の回復が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	治癒の判定① (骨強度の回復・関節可動域の回復)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力の回復・持久力の回復・運動協調性の回復が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	治癒の判定② (筋力の回復・持久力の回復・運動協調性の回復)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩部に直接外力が加わった損傷の診断ができるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	肩部に直接外力が加わった損傷の診断 (肩部前方・肩部後方・肩部外側・肩峰部・肩甲骨部)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩部に間接的な外力が加わった損傷の診断ができるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	肩部に間接的な外力が加わった損傷の診断 (外転位で手を衝いた場合・内転位で手を衝いた場合)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	競技別よる特徴的な肩部損傷が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	スポーツによる肩部損傷の診断 (バレーボール・水泳・体操競技)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	整形外科における損傷に対する診断が理解できる 患者指導ができるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における肩板損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における上腕二頭筋長頭腱損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	野球肘が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における野球肘の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロッキングフィンガーが理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科におけるロッキングフィンガーの診断 (診断・評価・治療・指導管理)		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅴ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　4　時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	303教室
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤　卓実	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

運動器系の疼痛・診察の鑑別診断・整復固定・後療法　スポーツ外傷　軟部組織損傷の診察の鑑別・検査法

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)
適宜資料の配布を行う

《授業外における学習方法》

次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する

《履修に当たっての留意点》

疑問点は質問し、日々の反復復習をしっかり行ってください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	テニス肘が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科におけるテニス肘の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	正中神経損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における正中神経損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	橈骨神経損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における橈骨神経損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	尺骨神経損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における尺骨神経損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	指の側副靭帯損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における指側副靭帯損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	マレットフィンガーが理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科におけるマレットフィンガーの診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	ハムストリングスの肉離れが理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科におけるハムストリングス肉離れの診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝十字靭帯損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における膝前十字靭帯損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝MCL損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における膝内側側副靭帯損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝半月板損傷が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における半月板損傷の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	アキレス腱断裂が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科におけるアキレス腱断裂の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿三頭筋の肉離れが理解できるようになる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における下腿三頭筋肉離れの診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫が理解できる 患者に対する評価・指導管理・治療方法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における足関節捻挫の診断 (診断・評価・治療・指導管理)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨端成長軟骨板が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における骨端成長軟骨板損傷の診断① (パンナー病・オスグッド病・ペルテス病)		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨端成長軟骨板が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	整形外科における骨端成長軟骨板損傷の診断② (フライバーグ病・ケーラー病)		